

令和 6 年度

議会要覧



南陽市議会事務局



この市章は南陽市の「ナ」を紋章化し、市民の団結と融和を図り市の限りない発展を象徴したものです。

(昭和42年4月1日制定)

南陽市民憲章

わたくしたちは、美しい自然と太陽に恵まれた南陽の市民です。

南陽市は、北に丘陵、南に沃野、すぐれた伝統と歴史をもった未来あるまちです。

わたくしたちは、このまちの市民であることに誇りをもち、より豊かな住みよいまちを築くために、力をあわせ、進んでこの憲章をまもります。

1. 緑と水を大切にし、きれいなまちをつくります。
1. 心とからだをきたえ、明るいまちをつくります。
1. きまりを守り、たすけあって楽しいまちをつくります。
1. 働くことに誇りをもち、豊かなまちをつくります。
1. 教養を深め、かおり高い文化のまちをつくります。

(昭和51年5月1日制定)

目 次

地 勢・沿 革	1
I 市 の 概 要	3
II 議 会	
1 議員の構成	4
2 議 員 名 簿	5
3 議会の構成	6
4 議会の運営	8
5 印 刷 物	8
6 特別職報酬及び給料	9
7 旅費・調査費・その他	9
8 歴 代 議 長	10
9 歴代副議長	11
10 歴代事務局長	12
11 議会事務局	12
III 議会活動状況	
1 議会開催状況	13
2 議案提出状況	14
3 議案・議決状況	15
4 請願処理状況	15
5 一般質問者数	15
6 傍 聴 者 数	15
7 一 般 質 問	16
8 議員発議状況及び審査結果	18
9 請願審査結果	18
10 各常任委員会等行政視察状況	19
11 行政視察来市状況	19
IV 行 財 政	
1 歴 代 市 長	21
2 歴代助役・副市長	21
3 歴代収入役	21
4 南陽市行政機構図	22
5 令和6年度 議会費（当初予算）	24
6 令和6年度 一般会計（当初予算）	25
7 令和6年度 各会計予算	27
8 令和6年度 一般会計歳出予算（性質別予算）	28

地勢・沿革

南陽市は、東に奥羽山脈をひかえ、南から西にかけて吾妻山系と飯豊山系に囲まれた山形県南部の置賜盆地に位置し、北部は山地で南に沃野が開け気候にも恵まれており、米、野菜、果樹などの栽培に適している。

また、風光明媚な県南県立自然公園や赤湯温泉など、豊富な観光資源を有する地理的条件に恵まれ、鉄道道路交通網にも恵まれた県南地方の要衝の地にある。

市内の長岡丘陵からは、約1万数千年位前（旧石器時代）の石器が発見されており、既にこの頃には人間が住んでいたと考えられ、この当時の人口は、今の南陽市地域では、おそらく10人とか20人位であったと考えられる。

土器を使うようになった縄文時代（約12,000～2,000年位前）の遺跡は、須刈田の大野平遺跡や宮内の久保遺跡など市内に70カ所以上あり、当時の住居跡や土器（生活用具）石器（生産、狩り、信仰の用具）など数多く発見されている。

今から約2,000年位前（弥生時代）になると、萩生田出土の石包丁（石製の穂つみ具）が示すとおり、この地方にも稲作文化が伝わった。

農業生産力が高まった次の古墳時代（4～8世紀）には、はじめに長岡の稲荷森古墳（全長96mの前方後円墳、国指定史跡）、その後に上野や二色根地区の小型の古墳がつくられた。

奈良時代、平安時代（8～12世紀）には、政治や行政の仕組みも大分整い、市内郡山地区には当時の郡役所があったと考えられている。

また、宮内の熊野大社や、赤湯の薬師寺の創建も9世紀ごろと伝えられているように、仏教文化が栄えるとともに、文字、税など、今の生活の原形がつけられた時代である。

武家政治の鎌倉時代（1192年～）には、幕府は大江時広を当地方（長井荘）の地頭に任じ、以後八代もその支配は続いた。

また、このころからこのあたりを北条郷と呼んでいたことが古文書からうかがい知ることができる。

14世紀、室町時代になると、天授6年（1380年）、伊達氏の支配に変わる。これらの時代の仏教信仰の深さは、竹原の「正元元年大日板碑」（県内最古、県指定）他、数多い板碑などによりしのばれる。

戦国時代にかけての伊達氏の支配は、宗遠から独眼竜として知られる政宗が岩出山に移封されるまで211年間も続いた。

のち、蒲生氏が7年間支配、1598年から明治維新にいたるまで上杉氏の支配となる。この時代に市内各地の特色が生まれた。

明治2年、版籍奉還とともに上杉茂憲が藩知事に任ぜられたが、地方は従来どおり代官制であった。

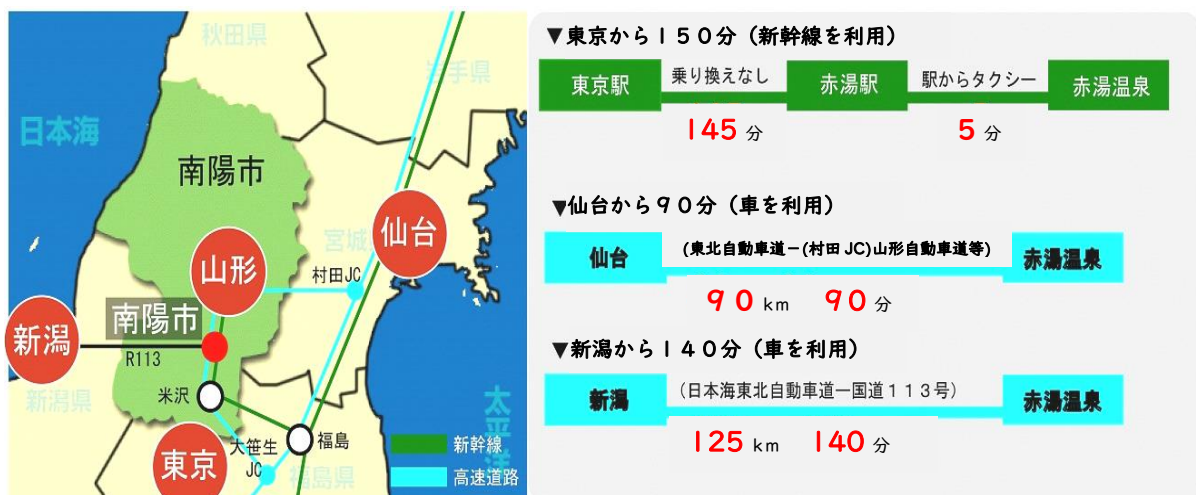
明治4年7月廃藩置県によって米沢県に、同年11月置賜県と改められるとともに五郡制を廃し27区小区に分割、明治6年28区小区に分けた。

昭和30年、宮内町、漆山村、吉野村、金山村が合併し宮内町、沖郷村と梨郷村が合併し和郷村、赤湯町と中川村が合併し赤湯町となった。

昭和42年4月1日、宮内町、赤湯町、和郷村の2町1村が合併し、山形県下13番目の市、南陽市が発足した。

新市名については、当時の県知事安孫子藤吉氏が名づけ親となり、「南陽の菊水」から「北に丘陵・南に沃野、まことに住みよいところ」の字義をもって「南陽市」と命名された。

アクセスマップ



車をご利用の方

- ◇東京……(東北自動車道 約4時間)……福島大笹生 IC……(東北中央自動車道 約40分)……南陽高畠 IC……南陽市
- ◇新潟……(国道113号 約2時間20分)……南陽市
- ◇仙台……(東北自動車道—山形自動車道—東北中央自動車道 約1時間30分)……南陽高畠 IC……南陽市
- ◇仙台……(東北中央自動車道 約30分)……白石 IC……(国道113号 約1時間20分)……南陽市

列車をご利用の方

- ◇JR 東京駅……(山形新幹線 約2時間30分)……赤湯駅

空港をご利用の方

- ◇山形空港……東根 IC……(東北中央自動車道 約50分)……南陽高畠 IC……南陽市
- ◇仙台空港……名取 IC……(仙台東部道路 約20分)……仙台南 IC……(東北自動車道—山形自動車道—東北中央自動車道 約1時間30分)……南陽高畠 IC……南陽市

I 市の概要

1 市制施行 昭和42年4月1日

2 人口 29,274人(男14,178人・女15,096人)
世帯数 11,512世帯
(令和6年4月1日現在)

3 面積 160.52km²

土地利用状況(地目別面積)

(単位:km²)

田	畑	宅地	池沼	山林	牧場	原野	雑種地	その他	計
19.70	13.99	8.99	0.20	80.75	0.46	3.85	4.53	28.05	160.52

令和5年1月1日現在

4 産業別就業者数

年次 産業	平成17年		平成22年		平成27年		令和2年	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
総数	18,089	100%	16,344	100%	16,419	100%	16,289	100%
第1次	2,234	12.3	1,840	11.3	1,696	10.3	1,537	9.4
第2次	6,055	33.5	5,217	31.9	5,368	32.7	5,180	31.8
第3次	9,734	53.8	9,123	55.8	9,309	56.7	9,572	58.8
分類不能	66	0.4	164	1.0	46	0.3	—	—

(国勢調査より)

5 都市形態 平地農村都市

6 市の木(さくら)



◎赤湯温泉桜まつり

日本古来から愛され、春を象徴する花として市民のだれもが親しみ、心のよりどころとしてきた樹木で、昭和62年4月1日、市の木として制定。

市の花(きく)



◎菊まつり

伝統ある“南陽の菊まつり”にちなみ、市の花としてふさわしく、昭和62年4月1日、市の花として制定。

Ⅱ 議 会

1 議員の構成

(1) 議員数

条 例 定 数	1 6 人	(令和6年の一般選挙より)
現 員 数	1 6 人	

(2) 任 期

現 議 員	令和6年4月1日～令和10年3月31日
正 副 議 長	議員申し合わせにより2年（再任妨げない）
常 任 委 員 会	委員会条例第3条により2年
議会運営委員会	常任委員の任期に準用

(3) 党派別議員 (令和6年4月4日現在)

党 派 別	人 員	会 派 別	人 員
自 由 民 主 党	2	保守公明クラブ	7
公 明 党	1	六 合 会	3
日 本 共 産 党	1	真 政 会	2
立 憲 民 主 党	1	会派に所属していない議員	4
国 民 民 主 党	1		
無 所 属	1 0		
計	1 6	計	1 6

(4) 年齢別議員数 (令和6年4月4日現在)

年齢 (歳)	～49	50 ～55	56 ～59	60 ～65	66 ～69	70 ～75	76 ～79	80～	計
人員	3	1	2	5	2	3	0	0	1 6

・最低年齢39歳 ・最高年齢72歳 ・平均年齢59歳

(5) 当選回数別議員数 (令和6年4月4日現在)

回数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
人員	9	1	3	1	0	1	1	0	0	1 6

2 議員名簿

議 長 遠 藤 榮 吉

副議長 島 津 善 衛 門

議 席 順

(令和6年4月4日現在)

N0	議員氏名	生年月日	年齢	住 所	電 話	所属政党	当選
1	高 岡 遼 多	S59. 7. 20	3 9	南陽市宮内 3572	47-2202	無所属	1
2	大 友 太 朗	S56. 6. 6	4 2	南陽市宮内 2710	47-2413	無所属	1
3	茂出木 純 也	S55. 6. 12	4 3	南陽市竹原 2850-4	47-5201	無所属	1
4	佐 藤 和 広	S46. 3. 30	5 3	南陽市池黒 1546-11	47-5265	自由民主党	1
5	中 村 孝 律	S42. 4. 23	5 6	南陽市川樋 2013	49-2988	無所属	1
6	外 山 弘 樹	S37. 9. 6	6 1	南陽市三間通 158-16	43-5395	無所属	1
7	佐 藤 信 行	S35. 2. 18	6 4	南陽市赤湯 2961-6 菅原ハイツ 203 号	43-2679	自由民主党	1
8	小 松 武 美	S34. 4. 11	6 4	南陽市小岩沢 41-15	49-2533	無所属	1
9	濱 田 藤兵衛	S28. 8. 21	7 0	南陽市宮内 3106-31	47-2128	日本共産党	1
10	伊 藤 英 司	S37. 10. 23	6 1	南陽市長岡632-4	43-4234	公明党	2
11	須 藤 清 市	S31. 8. 4	6 7	南陽市赤湯 1758-1	090-7933 -1515	無所属	3
12	山 口 裕 昭	S40. 8. 14	5 8	南陽市若狭郷屋848-22	40-2506	無所属	3
13	島 津 善 衛 門	S29. 1. 28	7 0	南陽市金山735	45-3409	無所属	3
14	高 橋 一 郎	S31. 1. 7	6 8	南陽市櫛塚587-10	43-2559	立憲民主党	4
15	板 垣 致江子	S27. 4. 3	7 2	南陽市蒲生田1370-3	47-4521	国民民主党	6
16	遠 藤 榮 吉	S33. 8. 25	6 5	南陽市宮内386	47-2861	無所属	7

3 議会の構成

(1) 常任委員会

委員会	定数 (人)	現員 (人)	所管事項
総務	5	5	総務課、みらい戦略課、財政課、税務課、総合防災課、会計課、選挙管理委員会事務局及び監査委員事務局の所管に属する事項並びに他の常任委員会の所管に属しない事項に関する調査及び議案、請願、陳情等を審査する。
文教厚生	6	6	市民課、福祉課、すこやか子育て課及び教育委員会事務局の所管に属する事項の調査及び議案、請願、陳情等を審査する。
産業建設	5	5	農林課、商工観光課、建設課、上下水道課及び農業委員会事務局の所管に属する事項の調査及び議案、請願、陳情等を審査する。

(2) 委員会名簿

(令和6年4月4日現在)

総務常任委員会(5)		文教厚生常任委員会(6)	
委員長	須藤清市	委員長	山口裕昭
副委員長	中村孝律	副委員長	佐藤信行
委員	小松武美	委員	高岡遼多
委員	高橋一郎	委員	大友太朗
委員	遠藤栄吉	委員	佐藤和広
		委員	濱田藤兵衛

産業建設常任委員会(5)			
委員長	伊藤英司	副委員長	外山弘樹
委員	茂出木純也	委員	島津善衛門
委員	板垣致江子		

議 会 運 営 委 員 会 (6)		議 会 報 編 集 委 員 会 (6)	
委 員 長	高 橋 一 郎	委 員 長	山 口 裕 昭
副 委 員 長	山 口 裕 昭	副 委 員 長	伊 藤 英 司
委 員	大 友 太 朗	委 員	高 岡 遼 多
委 員	佐 藤 和 広	委 員	茂出木 純 也
委 員	伊 藤 英 司	委 員	中 村 孝 律
委 員	須 藤 清 市	委 員	小 松 武 美

○ 置賜広域行政事務組合議会議員

遠 藤 榮 吉 須 藤 清 市 山 口 裕 昭

○ 置賜広域病院企業団議会議員

遠 藤 榮 吉 伊 藤 英 司 高 橋 一 郎

○ 監査委員 板 垣 致江子

○ 会派会長 ・保守公明クラブ 山 口 裕 昭 ・六合会 須 藤 清 市
 ・真政会 板 垣 致江子

(3) 特別委員会

委 員 会 名	設 置 年 月 日	構 成	設 置 目 的
予算特別委員会		議長を除く全議員 15人	一般会計、特別会計、企業 会計とも予算案の審査を 行う。
決算特別委員会		議長と議会選出の 監査委員を除く全 議員14人	一般会計、特別会計、企業 会計とも9月定例会で決 算案の審査を行う。

(4) 議員全員協議会

市政及び議会全般に係る事項に関し協議又は調整を行う。

(5) 会派会長会

各会派間の意見の調整、連絡又は諸協議を行う。

4 議会の運営

(1) 議会運営委員会

- ・委員数…………… 6 人
- ・構成…………… 会派の所属議員数での按分
- ・開催時期…………… 原則、議会開会 3 日前に開催する。(土日及び祝日の時は前日開催)

(2) 一般質問

- ・通告書提出期限…………… 議運開催日 2 日前の正午まで。(受付は通告書提出期限の 1 週間前からとする。)ただし 3 月定例会については、議運開催日の午前 10 時までとする。
- ・質問通告書の記載内容…………… 質問要旨はできるだけ詳細に記載し、確答を得られるよう配慮するものとする。
- ・質問方式及び時間…………… 一問一答方式で、初回のみ登壇し、一括質問一括答弁とする。また、時間は質疑答弁合計 50 分以内とする。
- ・発言の順序…………… 通告受付順とする。

(3) 予算の審査

- ・一般、特別、企業会計とも予算特別委員会に付託し審査する。

(4) 決算の審査

- ・一般、特別、企業会計とも 9 月定例会で決算特別委員会に付託し審査する。

(5) 請 願

- ・提出期限は、議運開催日 2 日前の正午とし、それ以降に提出されたものは、次の定例会で審査する。
- ・請願文書表は、全文記載する。

(6) 陳情・要望

- ・陳情書、要望書についてはコピーしたものを配布のみとする。

5 印刷物

(1) 会議録

- ・業者に委託 ・ A4 判 横 2 段組 ・ 70 部作成 ・ 予算 1,380 千円

(2) 議会報

- ・年 4 回 定例会毎に発行(臨時号発行もある)
- ・11,500 部発行(地区長を通じて市内全世帯に配布)・予算 1,941 千円
- ・編集は、常任委員会毎に選出された議会報編集委員 6 人によるものとする。

6 特別職報酬及び給料

(単位: 千円)

職 名	H元年 4.1	2. 4. 1	4. 4. 1	6. 6. 1	9. 4. 1	18. 9. 21	27. 4. 1	30. 10. 1	R4. 10. 1	R6. 4. 1
議 長	340	360	400	425	435					455
副 議 長	305	322	355	375	385					405
議 員	285	300	330	350	360					380
市 長	700	770	850	900	920	① (460)	③ (828)	④ (828)	⑤ (828)	
副 市 長 (H19. 4. 1～)	535	580	640	680	695	① (347)				
収 入 役	460	500	540	580	595	18. 10. 1～ 廃 止				
教 育 長 (給料)	440	470	510	540	550	② 18. 12. 21 改 正(385)				

※①市長・副市長の()は減額時の報酬額。H18. 9. 1～H22. 7. 29 まで50%を減額。

②教育長の()は減額時の給料額。H18. 12. 1～H22. 7. 29 まで30%を減額。

③市長()は減額時の報酬額。H27. 4. 1～H30. 7. 29 まで10%を減額。

④市長()は減額時の報酬額。H30. 10. 1～R4. 7. 29 まで10%を減額。

⑤市長()は減額時の報酬額。R4. 10. 1～R8. 7. 29 まで10%を減額。

区 分	期 末 手 当		
	6 月	1 2 月	計
支 給 割 合	$\frac{165}{100}$	$\frac{165}{100}$	$\frac{330}{100}$
加 算 割 合	$\frac{140}{100}$		

(令和5年11月30日改正)

7 旅費・調査費・その他

○ 調 査 旅 費

・ 常 任 委 員 会	1 人 年 額	1 2 0, 0 0 0 円
・ 議 会 運 営 委 員 会	〃	1 2 0, 0 0 0 円
・ 議 会 報 編 集 委 員 会	〃	7 0, 0 0 0 円

○ 補 助 金

・ 政務活動費 1 人 月 額 1 0, 0 0 0 円 5 月 に 当 該 年 度 分 を 会 派 に 交 付

○ 費 用 弁 償

区 分	日 当（１日）	宿泊料（１夜）	車 賃（１km）
議 長・市 長	３，０００円	１４，８００円	３７円
副議長・副市長	２，７００円	１３，１００円	
議 員	２，６００円		

○ 交 際 費 ・ 議 会 8 0 0 千 円 ・ 市 1, 4 5 0 千 円

8 歴代議長

代位	氏 名	生 年 月 日	就 任 年 月 日	退 任 年 月 日
初代	長 嶋 松五郎	M. 37. 11. 10	S. 42. 4. 1	S. 43. 3. 31
2	長 島 総兵衛	M. 43. 4. 30	43. 4. 12	47. 3. 31
〃	〃	〃	47. 4. 7	49. 4. 8
3	青 木 清 信	M. 43. 3. 3	49. 4. 8	51. 3. 31
〃	〃	〃	51. 4. 8	53. 2. 4
4	小 川 宮 次	M. 35. 11. 28	53. 2. 8	53. 4. 3
〃	〃	〃	53. 4. 3	55. 3. 31
5	山 口 五三郎	T. 8. 3. 28	55. 4. 8	57. 4. 5
〃	〃	〃	57. 4. 5	59. 3. 31
〃	〃	〃	59. 4. 6	61. 4. 2
〃	〃	〃	61. 4. 2	63. 3. 31
6	高 橋 吉 美	T. 14. 11. 7	63. 4. 5	H. 2. 4. 5
〃	〃	〃	H. 2. 4. 5	4. 3. 31
〃	〃	〃	4. 4. 7	6. 4. 5
7	荒 井 幸 昭	S. 15. 6. 23	6. 4. 5	8. 3. 31
〃	〃	〃	8. 4. 5	10. 4. 6
8	渡 部 敬	S. 6. 8. 3	10. 4. 6	12. 3. 31
9	小 林 啓 市	S. 11. 9. 12	12. 4. 7	14. 4. 5
10	栗 原 晴 峰	S. 22. 4. 14	14. 4. 5	16. 3. 31
11	塩 田 秀 雄	S. 27. 12. 11	16. 4. 7	18. 4. 7
12	小 野 健一郎	S. 18. 9. 3	18. 4. 7	20. 3. 31
13	伊 藤 俊 美	S. 16. 2. 10	20. 4. 4	22. 4. 6
〃	〃	〃	22. 4. 6	24. 3. 31
14	遠 藤 榮 吉	S. 33. 8. 25	24. 4. 4	26. 4. 4
〃	〃	〃	26. 4. 4	28. 3. 31
15	田 中 貞 一	S. 26. 1. 26	28. 4. 6	30. 4. 6
16	高 橋 弘	S. 21. 10. 17	30. 4. 6	R. 2. 3. 31
17	高 橋 篤	S. 27. 1. 16	R. 2. 4. 6	4. 4. 5
18	舩 山 利 美	S. 29. 2. 22	4. 4. 5	6. 3. 31
19	遠 藤 榮 吉	S. 33. 8. 25	6. 4. 4	在職中

9 歴代副議長

代位	氏 名	生 年 月 日	就 任 月 日	退 任 月 日
初代	船 山 新 助	M. 31. 8. 8	S. 42. 4. 1	S. 43. 3. 31
2	遠 藤 東 平	T. 5. 11. 7	43. 4. 12	47. 3. 31
〃	〃	〃	47. 4. 7	49. 4. 8
3	須 貝 庄 作	M. 41. 12. 16	49. 4. 8	50. 4. 4
4	佐 藤 忠三郎	M. 42. 10. 17	50. 5. 13	51. 3. 31
〃	〃	〃	51. 4. 8	53. 4. 3
5	小 林 富 市	M. 42. 1. 20	53. 4. 3	55. 3. 31
6	武 田 三 郎	S. 4. 8. 22	55. 4. 8	57. 4. 5
〃	〃	〃	57. 4. 5	59. 3. 31
7	高 野 真 雄	T. 4. 11. 20	59. 4. 6	61. 4. 2
8	高 橋 吉 美	T. 14. 11. 7	61. 4. 2	63. 3. 31
9	加 藤 馨	S. 6. 10. 20	63. 4. 5	H. 2. 4. 5
1 0	嶋 貫 幸 男	S. 3. 3. 15	H. 2. 4. 5	4. 3. 31
1 1	大 坂 正十四	T. 14. 9. 22	4. 4. 7	6. 4. 5
1 2	岩 井 一 敏	S. 16. 1. 27	6. 4. 5	8. 3. 31
1 3	渡 部 敬	S. 6. 8. 3	8. 4. 5	10. 4. 6
1 4	五十嵐 諒	S. 22. 2. 13	10. 4. 6	12. 3. 31
1 5	殿 岡 和 郎	S. 14. 10. 2	12. 4. 7	14. 4. 5
1 6	小野田 貞 一	S. 5. 2. 24	14. 4. 5	16. 3. 31
1 7	伊 藤 俊 美	S. 16. 2. 10	16. 4. 7	18. 4. 7
1 8	鈴 木 英 昭	S. 17. 9. 14	18. 4. 7	20. 3. 31
1 9	桑 原 仁	S. 23. 2. 05	20. 4. 4	22. 4. 6
〃	〃	〃	22. 4. 6	24. 3. 31
2 0	田 中 貞 一	S. 26. 1. 26	24. 4. 4	26. 4. 4
2 1	高 橋 篤	S. 27. 1. 16	26. 4. 4	28. 3. 31
2 2	高 橋 弘	S. 21. 10. 17	28. 4. 6	30. 4. 6
2 3	川 合 猛	S. 22. 1. 25	30. 4. 6	R. 2. 3. 31
2 4	船 山 利 美	S. 29. 2. 22	R. 2. 4. 6	2. 4. 5
2 5	梅 川 信 治	S. 24. 7. 29	4. 4. 5	6. 3. 31
2 6	島 津 善衛門	S. 29. 1. 28	6. 4. 4	在職中

10 歴代事務局長

代位	氏 名	就 任 月 日	退 任 月 日	摘 要
初代	山 田 貞 雄	S.42. 4. 1	S.47. 3.31	
2	阿 部 内蔵之助	47. 4. 1	52. 3.31	
3	清 水 辰 雄	52. 4. 1	54. 3.31	
4	斎 藤 武	54. 4. 1	61. 3.31	
5	竹 田 光 雄	61. 4. 1	62. 5.31	
6	志 藤 和 光	62. 6. 1	H. 1. 3.31	
7	笹 木 明 夫	H. 1. 4. 1	4. 3.31	
8	桑 原 弘	4. 3.31	6. 3.31	
9	平 宮 雄	6. 4. 1	8. 3.31	
10	清 水 勝 美	8. 4. 1	10. 3.31	
11	長 岡 昭 広	10. 4. 1	15. 3.31	
12	鈴 木 勝	15. 4. 1	17. 3.31	
13	樋 口 一 志	17. 4. 1	18. 3.31	
14	佐 藤 正 昌	18. 4. 1	20. 3.31	
15	須 藤 公 一	20. 4. 1	22. 3.31	
16	斉 藤 彰 助	22. 4. 1	24. 3.31	
17	中 條 晴 雄	24. 4. 1	25. 3.31	
18	大 沼 豊 広	25. 4. 1	26.12.31	
19	尾 形 真 人	27. 1. 1	30. 3.31	
20	高 梨 敏 彦	30. 4. 1	R. 3. 3.31	
21	安 部 真由美	R. 3. 4. 1	6. 3.31	
22	尾 形 久 代	6. 4. 1	在職中	

11 議会事務局

(1) 構成及び人員

【定数6人】

【現員数4人】

事務局長 — 事務局長補佐 — 庶務係長 — 書記1人
(議事係長)

○ 職員数

(令和6年4月1日現在)

	市長 部局	議会	教委	農委	選挙	監査	公営	合計
定 数	271	6	87	8	3	3	23	401
職員数	199	4	55	4	2	2	18	284

(2) 議会棟の現況

昭和57年4月25日竣工

○ 議会棟面積等

議 席	30 席	議長・副議長室	36. 5 m ²
執 行 部 席	30 席	議 長 公 室	71. 5 m ²
速 記 者 席	2 席	議員控室 (1 室)	113. 0 m ²
一 般 傍 聴 席	41 席	議員全員協議会室	109. 5 m ²
記 者 席	5 席	委員会室 (2 室)	74. 0 m ²
事 務 室	39. 8 m ²	図 書 室	39. 0 m ²
議 場	217. 5 m ²	モ ニ タ ー 室	12. 5 m ²
		傍 聴 席	61. 5 m ²

Ⅲ 議会活動状況(令和5年分)

1 議会開催状況

区 分		会期日程	会期 日数	本会 議日数	議案件数			決 議 態 様						本会 議時間数
					市長 提案	議員 提案	計	可 決	同 意	認 定	承 認	撤 回	そ の 他	
定 例 会	3月	3月 2日 ～3月20日	19	4	27	2	29	25	1		2		1	8:21
	6月	5月31日 ～21日	22	5	16	1	17	6	6				5	6:20
	9月	9月 1日 ～21日	21	4	24	1	25	12	2	8			3	6:44
	12月	11月30日 ～ 12月21日	22	4	29	3	32	30	2					4:21
	小 計		84	17	96	7	103	73	11	8	2		9	25:46
臨 時 会	1回	4月21日	1	1	5	1	6	5			1			0:50
	小 計		1	1	5	1	6	5			1			0:50
合 計			85	18	101	8	109	78	11	8	3		9	26:36

2 議案提出状況

区 分		議 決 事 件										
		条 例	予 算	決 算	意 見 書	決 議	専決処分		同 意	契 約	そ の 他	合 計
							条例	予算				
定 例 会	3月	10	13					2			4	29
	6月	2	2		1				6		6	17
	9月	4	6	8					1	1	5	25
	12月	9	11		1				2		9	32
	小 計	25	32	8	2			2	9	1	24	103
臨 時 会	1回	3	1					1			1	6
	小 計	3	1					1			1	6
合 計		28	33	8	2			3	9	1	25	109

3 議案・議決状況

(1) 市長提出付議事件数

区 分		原案可決	修正可決	否決	継続審議	審議未了	撤回	件数合計
地方自治法第96条1項議決事件	条 例(1号)	24						24
	予 算(2号)	33						33
	決 算(3号)	8						8
	4号から14号までの議案	2						2
専 決 処 分 案 件		3						3
地方自治法第96条1項15号及び96条2項を含むその他すべての議案		22						22
合 計		92						92

(2) 議員提出付議事件数

区 分	原案可決	修正可決	否 決	継続審議	審議未了 撤 回 そ の 他	合 計
条 例	4					4
規 則						
意 見 書	2					2
決 議						
そ の 他	2					2
合 計	8					8

4 請願処理状況

採 択	不採択	翌年へ繰越	取り下げ	審議未了	受理件数
2					2

5 一般質問者数

3月定例会 (2日)	6月定例会 (2日)	9月定例会 (2日)	12月定例会 (2日)	合 計 (8日)
8 人	6 人	6 人	5 人	25 人

6 傍聴者数

(報道関係者除く)

3 月 定例会	6 月 定例会	9 月 定例会	12 月 定例会	臨時会	合 計
11 人	12 人	4 人	7 人	0 人	34 人

7 一般質問

3月定例会

質 問 者	質 問 事 項
山 口 裕 昭	1. コロナ禍からの復興について 2. 頻発する豪雨災害への備えについて
島 津 善衛門	1. マイナンバーカード普及とマイナンバーの活用促進 2. 中学校の運動部活動の地域移行
片 平 志 朗	1. 自然環境の生態系を豊かにするために 2. これからのコミュニティ施策について
板 垣 致江子	1. 南陽市の観光について 2. 地域生活支援拠点の整備について
山 口 正 雄	1. 中学校部活動の地域移行について
佐 藤 明	1. 新型コロナ感染対策と今後の対応について
高 橋 一 郎	1. オンデマンド型タクシーによる準公共交通機関システムの構築 2. NTT東日本（電気通信事業者/指定公共機関）との連携による防災体制の構築
高 岡 亮 一	1. 戦争犠牲者の慰霊を今後どう考えるか 2. コロナ禍の現況について

6月定例会

質 問 者	質 問 事 項
山 口 裕 昭	1. 熱中症の予防について 2. 幼稚園バスの安全装置について
島 津 善衛門	1. 事務効率の向上について
高 橋 一 郎	1. 障がい児保育・教育の現状と課題 2. 学校給食の完全無償化 3. 準公共交通・交通弱者への支援
佐 藤 明	1. マイナンバーカード混乱、システムの「安全性」が崩れている状況について

質 問 者	質 問 事 項
板 垣 致江子	1. 子育て支援の充実に病児保育を 2. 観光地としての公衆トイレのあり方について
高 岡 亮 一	1. コロナ禍総括

9月定例会

質 問 者	質 問 事 項
山 口 裕 昭	1. 異常気象に伴う熱中症の対策について 2. 再生可能エネルギーの利用について
島 津 善衛門	1. マイナンバーカードのトラブル対応 2. 成年後見制度の利用の促進 3. 置賜定住自立圏共生ビジョンにおける地域医療体制の具体的取り組み
高 橋 一 郎	1. いも煮会のできる場所の新設 2. 二色根温泉の活用について 3. コミュニティカーシェアリング(CCS)の取り組み 4. ゼロカーボンシティ宣言後の取り組み 5. 子どもたちがふるさとに残るための教育
佐 藤 明	1. 市の経済対策について 2. 熱中症対策について
片 平 志 朗	1. 防災対策の強化について 2. 地方創生について
高 岡 亮 一	1. 宮内公民館改築について 2. 本市にけるワクチン政策について

12月定例会

質 問 者	質 問 事 項
山 口 裕 昭	1. 人口減少対策について 2. 各種行事の見直しの必要性について
高 橋 一 郎	1. 白竜湖の復活に向けて 2. 少子化等による教育問題
伊 藤 英 司	1. 空き家対策について 2. 重点支援地方交付金について

質 問 者	質 問 事 項
佐 藤 明	1. 来年度の予算編成について 2. 介護保険事業計画第9期について
高 岡 亮 一	1. ”愛郷心”の涵養を行政、教育の柱に 2. 新型コロナ総括

8 議員発議状況及び審査結果

区 分	発議番号	件 名	審査結果
3月定例会	第1号	南陽市議会の個人情報の保護に関する条例の設定について	原案可決
第1回臨時会	第2号	議会機能等検討特別委員会の設置について	原案可決
6月定例会	第3号	食料・農業・農村基本法の見直しに関する意見書の提出について	原案可決
9月定例会	第4号	南陽市議会議員定数条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
12月定例会	第5号	南陽市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
12月定例会	第6号	南陽市議会議員政治倫理条例の設定について	原案可決
12月定例会	第7号	健康保険証を廃止せず存続を求める意見書の提出について	原案可決

9 請願審査結果

番 号 (付託委員会)	件 名	請 願 者	議 決 年月日	結 果
第1号 (産業建設)	食料・農業・農村基本法の見直しに関する請願について	山形おきたま農業協同組合 代表理事組合長 若林 英毅 山形おきたま農協農政 対策本部 本部長 若林 英毅	5.6.21	採 択
第2号 (文教厚生)	健康保険証を廃止せず存続を求める意見書提出について	山形県社会保障推進協 議会 会長 高木 紘一	5.12.21	採 択

10 各常任委員会等行政視察状況

委 員 会 名	視 察 地	視 察 事 項
総務常任委員会 7月12日～14日	北海道江別市 北海道三笠市	1. 河川防災ステーションについて 1. 食物調理科単科高校における特色ある学校運営について
文教厚生常任委員会 6月26日～28日	北海道東神楽町 北海道芦別市	1. 子育て支援施策について 2. 廃校の活用について 1. 再生可能エネルギー（木質バイオマス施設）施策について
産業建設常任委員会 7月4日～6日	北海道富良野市 北海道当別町	1. 担い手育成センターによる新規就農者支援について 1. 林業振興によるエネルギーの地域循環プロジェクトについて
議会運営委員会 10月23日～25日	大分県大分市 熊本県玉名市	1. 防災会議と議会BCPについて 1. 玉名市議会基本条例について 2. 政治倫理条例について
議会報編集委員会 5月9日～10日	岩手県滝沢市	1. 議会だよりの編集、発行、全般について

11 行政視察来市状況

月 日	議 会 名	調 査 事 項	人数 (内随員)
7月11日	神奈川県中井町	1. 情報セキュリティの取り組みについて 2. 都市づくり・まちづくり（熊野門前町整備）の取り組みについて 3. ラーメン課R&Rプロジェクトについて	5（0）
7月12日	静岡県伊豆の国市	1. ラーメン課R&Rプロジェクトについて	5（0）
7月27日	神奈川県横浜市	1. シェルターなんようホールについて	15（3）
8月7日	岐阜県関市	1. 地域公共交通「おきタク」について	3（0）
8月9日	神奈川県大和市	1. ラーメン課R&Rプロジェクトについて	2（0）

月 日	議 会 名	調 査 事 項	人数 (内随行)
9 月 27 日	奈良県大和郡山市	1. 地域公共交通「おきタク」について	4 (0)
10 月 2 日	愛知県愛西市	1. 地域公共交通「おきタク」について	9 (1)
10 月 3 日	埼玉県深谷市	1. 地域公共交通「おきタク」について	8 (1)
10 月 17 日	東京都武蔵村山市	1. 地域公共交通「おきタク」について	6 (1)
10 月 19 日	神奈川県湯河原町	1. シェルターなんようホールについて	6 (4)
10 月 24 日	千葉県富里市	1. 書かない窓口システムについて	10 (3)
10 月 25 日	富山県砺波市	1. スマート農業について 2. 効率的な農業経営について	5 (1)
11 月 1 日	和歌山県田辺市	1. 地域公共交通「おきタク」について	6 (1)
11 月 8 日	茨城県水戸市	1. シェルターなんようホールについて	3 (0)
11 月 15 日	千葉県八街市	1. 地域公共交通「おきタク」について	3 (0)
1 月 31 日	岩手県矢巾町	1. ラーメン課R&Rプロジェクトについて	7 (0)

Ⅳ 行 財 政

1 歴代市長

代 位	氏 名	生 年 月 日	就任年月日	退任年月日	摘 要
職 務 執行者	佐 藤 義 一	M. 35. 11. 3	S. 42. 4. 1	S. 42. 4. 17	S. 42. 4. 1 市制施行
初 代	〃	〃	S. 42. 4. 28	S. 50. 3. 29	
2	遠 藤 東 平	T. 5. 11. 7	S. 50. 4. 28	S. 53. 3. 10	
3	須 藤 直一郎	M. 39. 11. 22	S. 53. 4. 16	S. 53. 6. 15	
4	新 山 昌 孝	T. 15. 6. 8	S. 53. 7. 30	S. 61. 7. 29	
5	大 竹 俊 博	S. 14. 12. 2	S. 61. 7. 30	H. 10. 7. 29	
6	荒 井 幸 昭	S. 15. 6. 23	H. 10. 7. 30	H. 18. 7. 29	
7	塩 田 秀 雄	S. 27. 12. 11	H. 18. 7. 30	H. 26. 7. 29	
8	白 岩 孝 夫	S. 44. 1. 29	H. 26. 7. 30	在 職 中	

2 歴代助役（～H19. 3. 31）・副市長（H19. 4. 1～）

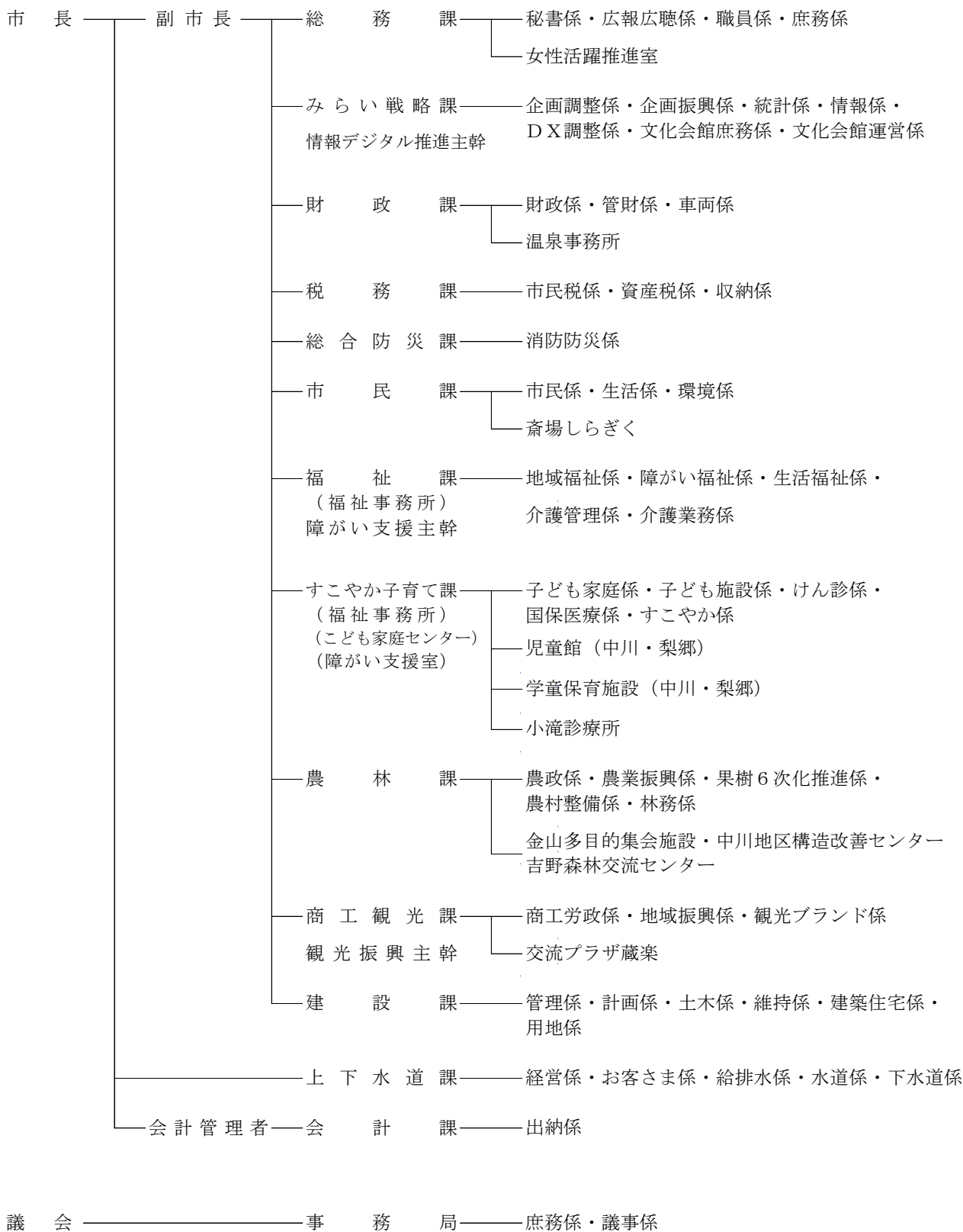
代 位	氏 名	生 年 月 日	就任年月日	退任年月日	摘 要
初 代	三 浦 玄 一	M. 44. 10. 15	S. 43. 11. 1	S. 51. 10. 31	
2	鈴 木 繁 次	T. 8. 3. 18	S. 53. 1. 1	S. 53. 2. 2	
3	村 山 純 一	T. 12. 11. 12	S. 53. 6. 1	S. 61. 5. 31	
4	滝 澤 政	S. 3. 10. 11	S. 62. 6. 1	H. 7. 3. 31	
5	笹 木 明 夫	S. 9. 2. 8	H. 7. 4. 1	H. 9. 3. 31	
6	高 山 和 夫	S. 12. 3. 15	H. 9. 5. 1	H. 13. 4. 30	
7	大 場 忠 夫	S. 20. 11. 20	H. 15. 4. 1	H. 18. 7. 29	
8	柴 田 誠	S. 20. 1. 29	H. 18. 10. 1	H. 22. 9. 30	
9	安 達 正 司	S. 27. 4. 2	H. 23. 4. 1	H. 26. 7. 29	
10	大 沼 豊 広	S. 30. 2. 3	H. 27. 1. 1	在 職 中	

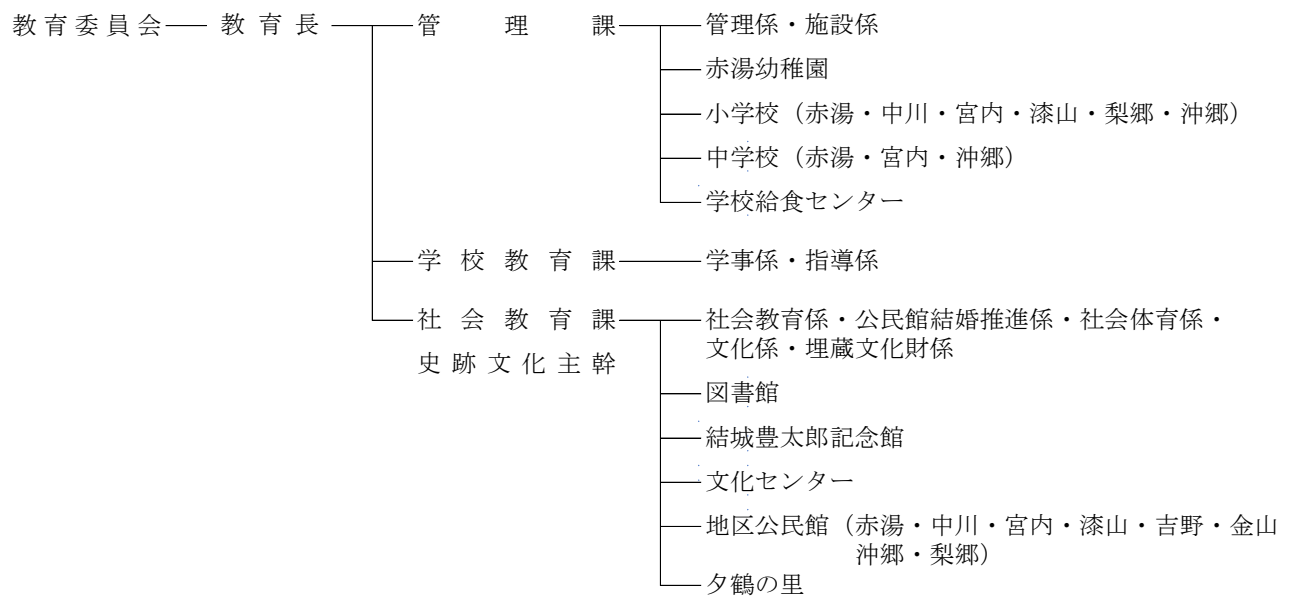
3 歴代収入役

代 位	氏 名	生 年 月 日	就任年月日	退任年月日	摘 要
初 代	近 野 伊 重	M. 40. 5. 13	S. 42. 7. 1	S. 46. 6. 30	
2	新 山 清 一	T. 4. 2. 15	S. 46. 10. 1	S. 50. 9. 30	
3	佐々木 富次郎	T. 7. 6. 11	S. 50. 10. 1	S. 54. 9. 30	
4	殿 岡 廣 司	T. 12. 2. 8	S. 55. 4. 1	S. 61. 8. 31	
5	滝 澤 政	S. 3. 10. 11	S. 61. 10. 1	S. 62. 5. 31	
6	竹 田 光 雄	S. 4. 7. 29	S. 62. 6. 1	H. 5. 3. 31	
7	笹 木 明 夫	S. 9. 2. 8	H. 5. 4. 1	H. 7. 3. 31	
8	後 藤 武 夫	S. 15. 8. 15	H. 7. 4. 1	H. 15. 3. 31	
9	齋 藤 誠 一	S. 19. 10. 31	H. 15. 4. 1	H. 18. 7. 29	

南陽市行政機構図

令和6年4月1日





選挙管理委員会 —— 事 務 局 —— 選挙係

監 査 委 員 —— 事 務 局 —— 監査係

農 業 委 員 会 —— 事 務 局 —— 農地係・振興係

固定資産評価審査委員会

5 令和6年度 議会費（当初予算）

（単位：千円）

区 分(節)	令和6年度		令和5年度		比較 増減	対前年 増減率 (%)
	予算額	構成比 (%)	予算額	構成比 (%)		
1 報 酬	74,160	42.6	74,640	43.0	△ 480	△ 0.6
2 給 料	18,086	10.4	17,872	10.3	214	1.2
3 職員手当等	36,885	21.2	37,151	21.4	△ 266	△ 0.7
4 共 済 費	28,892	16.6	29,123	16.8	△ 231	△ 0.8
7 報 償 費	196	0.1	205	0.1	△ 9	△ 4.4
8 旅 費	5,769	3.3	5,934	3.4	△ 165	△ 2.8
9 交 際 費	800	0.5	800	0.5	0	0.0
10 需 用 費	3,029	1.8	1,991	1.2	1,038	52.1
11 役 務 費	225	0.1	207	0.1	18	8.7
12 委 託 料	1,380	0.8	1,056	0.6	324	30.7
13 使用料及び賃借料	1,662	1.0	1,631	0.9	31	1.9
17 備品購入費	32	0.0	32	0.0	0	0.0
18 負担金補助 及び交付金	2,802	1.6	2,874	1.7	△ 72	△ 2.5
合 計	173,918	100.0	173,516	100.0	402	0.2

6 令和6年度 一般会計（当初予算）
歳 入

（単位：千円）

区 分	令和6年度		令和5年度		比較増減	対前年 増減率 (%)
	予算額	構成比 (%)	予算額	構成比 (%)		
1 市 税	3,586,376	21.5	3,522,452	20.8	63,924	1.8
2 地方譲与税	146,687	0.9	143,198	0.9	3,489	2.4
3 利子割交付金	1,000	0.0	2,000	0.0	△ 1,000	△ 50.0
4 配当割交付金	8,000	0.0	7,000	0.0	1,000	14.3
5 株式等譲渡所得割交付金	8,000	0.0	8,000	0.0	0	0.0
6 法人事業税交付金	53,000	0.3	50,000	0.3	3,000	6.0
7 地方消費税交付金	765,000	4.6	745,000	4.4	20,000	2.7
8 環境性能割交付金	12,000	0.1	12,000	0.1	0	0.0
9 地方特例交付金	25,000	0.2	25,000	0.1	0	0.0
10 地方交付税	4,640,000	27.8	4,563,000	27.0	77,000	1.7
11 交通安全対策特別交付金	4,500	0.0	4,500	0.0	0	0.0
12 分担金及び負担金	84,244	0.5	95,613	0.6	△ 11,369	△ 11.9
13 使用料及び手数料	129,173	0.8	126,842	0.8	2,331	1.8
14 国庫支出金	2,119,765	12.7	2,432,137	14.4	△ 312,372	△ 12.8
15 県支出金	1,397,552	8.4	1,273,285	7.5	124,267	9.8
16 財産収入	18,339	0.1	19,007	0.1	△ 668	△ 3.5
17 寄附金	1,005,035	6.0	1,005,835	5.9	△ 800	△ 0.1
18 繰入金	1,382,120	8.3	1,291,000	7.6	91,120	7.1
19 繰越金	250,000	1.5	200,000	1.2	50,000	25.0
20 諸収入	231,409	1.4	183,431	1.1	47,978	26.2
21 市債	812,800	4.9	1,212,700	7.2	△ 399,900	△ 33.0
合 計	16,680,000	100.0	16,922,000	100.0	△ 242,000	△ 1.4

歳 出

(単位:千円)

区 分	令和6年度		令和5年度		比較増減	対前年 増減率 (%)
	予算額	構成比 (%)	予算額	構成比 (%)		
1 議 会 費	173,918	1.0	173,516	1.0	402	0.2
2 総 務 費	2,777,678	16.7	2,763,965	16.3	13,713	0.5
3 民 生 費	5,341,603	32.0	5,269,666	31.1	71,937	1.4
4 衛 生 費	1,146,766	6.9	1,227,026	7.3	△ 80,260	△ 6.5
5 労 働 費	42,176	0.3	41,514	0.3	662	1.6
6 農林水産業費	674,999	4.0	578,784	3.4	96,215	16.6
7 商 工 費	416,724	2.5	375,270	2.2	41,454	11.0
8 土 木 費	2,017,699	12.1	2,609,224	15.4	△ 591,525	△ 22.7
9 消 防 費	676,886	4.1	690,652	4.1	△ 13,766	△ 2.0
10 教 育 費	1,825,520	10.9	1,619,666	9.6	205,854	12.7
11 災 害 復 旧 費	37,740	0.2	37,740	0.2	0	0.0
12 公 債 費	1,528,284	9.2	1,514,970	9.0	13,314	0.9
13 諸 支 出 金	7	0.0	7	0.0	0	0.0
14 予 備 費	20,000	0.1	20,000	0.1	0	0.0
合 計	16,680,000	100.0	16,922,000	100.0	△ 242,000	△ 1.4

7 令和6年度 各会計予算

(一般会計・特別会計)

(単位：千円)

区 分		令和6年度 当初予算額	令和5年度 当初予算額	比較増減	
				予算額	増減率(%)
一 般 会 計		16,680,000	16,922,000	△ 242,000	△ 1.4
特 別 会 計	国民健康保険特別会計	3,237,230	3,353,411	△ 116,181	△ 3.5
	財産区特別会計	146,345	128,784	17,561	13.6
	育英事業特別会計	3,658	3,419	239	7.0
	介護保険特別会計	3,717,343	3,732,381	△ 15,038	△ 0.4
	後期高齢者医療特別会計	513,038	424,391	88,647	20.9
	小 計	7,617,614	7,642,386	△ 24,772	△ 0.3
合 計		24,297,614	24,564,386	△ 266,772	△ 1.1

(企業会計)

(単位：千円)

区 分			令和6年度 当初予算額	令和5年度 当初予算額	比較増減	
					予算額	増減率(%)
水道事業	収益的収支	収入	809,397	818,496	△ 9,099	△ 1.1
		支出	782,334	805,002	△ 22,668	△ 2.8
	資本的収支	収入	69,274	61,044	8,230	13.5
		支出	389,060	380,674	8,386	2.2
	※資本的収支の差については、損益勘定留保資金、利益剰余金(積立金)、消費税及び地方消費税資本的収支調整額で補填					
下水道事業	収益的収支	収入	1,216,654	1,079,113	137,541	12.7
		支出	1,172,151	1,101,652	70,499	6.4
	資本的収支	収入	872,249	978,467	△ 106,218	△ 10.9
		支出	1,241,767	1,354,942	△ 113,175	△ 8.4
	※資本的収支の差については、損益勘定留保資金、消費税及び地方消費税資本的収支調整額で補填					

8 令和6年度 一般会計歳出予算（性質別予算）

（単位：千円）

区 分	令和6年度当初		令和5年度当初		比較増減 (A)-(B)
	予算額(A)	構成比 (%)	予算額(B)	構成比 (%)	
人件費	2,791,863	16.7	2,758,514	16.3	33,349
物件費	2,038,565	12.2	2,025,763	12.0	12,802
維持補修費	307,999	1.9	277,459	1.6	30,540
扶助費	3,257,140	19.5	3,237,685	19.1	19,455
補助費等	3,368,036	20.2	3,266,296	19.3	101,740
普通建設事業費	1,388,615	8.3	1,925,534	11.4	△ 536,919
災害復旧事業費	37,740	0.2	37,740	0.2	0
公債費	1,528,273	9.2	1,514,959	9.0	13,314
積立金	514,478	3.1	459,703	2.7	54,775
投資及び出資金					
貸付金	30,000	0.2	30,000	0.2	0
繰出金	1,397,291	8.4	1,368,347	8.1	28,944
予備費	20,000	0.1	20,000	0.1	0
合 計	16,680,000	100.0	16,922,000	100.0	△ 242,000
一般財源	10,629,296	63.7	10,416,228	61.6	213,068
特定財源	6,050,704	36.3	6,505,772	38.4	△ 455,068



令和6年4月作成